

# I 調査概要

## 1 調査目的

ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属を加えた新たな分別体制となつてから約3年が経過し、市民のごみ問題やリサイクルに対する意識の変化を把握するとともに、今後の施策展開と啓発活動促進のための基礎資料とすることを目的に実施した。

## 2 調査項目

- ① 回答者の属性
- ② 意識の変化について
- ③ ごみと資源の分別について
- ④ ごみの適切管理義務の認知度
- ⑤ ごみの収集場所について
- ⑥ ごみと資源の収集回数に対する考え
- ⑦ ごみの4R運動について
- ⑧ 市の広報などによるごみ減量化等に関する啓発・情報提供について
- ⑨ ごみ減量マスコットキャラクター「ムーやん」について
- ⑩ ごみの減量や資源化の取り組みに関する講習会等の充実について
- ⑪ 市の取り組みに関する認知状況について
- ⑫ 生ごみ処理機の購入補助について
- ⑬ 家庭ごみの有料化について

## 3 調査方法

- ① 調査対象者 平成21年10月以前より市内在住の20歳以上の無作為に抽出した市民
- ② 標本数 2,000人（有効回収数：1,002人 回収率50.1%）

### 【回収状況】

項目	人口（構成比）*	有効回答数（率）
全体	850,662 (100.0%)	1,002 (100.0%)
堺区	146,923 (17.3%)	154 (15.4%)
中区	125,180 (14.7%)	133 (13.3%)
東区	86,956 (10.2%)	93 (9.3%)
西区	138,300 (16.3%)	166 (16.6%)
南区	155,498 (18.3%)	186 (18.6%)
北区	157,689 (18.5%)	170 (17.0%)
美原区	40,116 (4.7%)	43 (4.3%)
無回答	- (-)	57 (5.7%)

\*平成24年11月現在の住民基本台帳人口

- ③ 調査期間 平成24年11月14日～11月30日
- ④ 調査方法 アンケート方式（郵送による配布・回収）

#### 4 報告書の見方

- ① 図表中のn (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- ② 回答比率 (%) は回答者数 (n) を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は100.0%を超える。
- ③ 図表中の「MA%」 (Multiple Answerの略) という表示は、複数回答形式の質問 (回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する形式の質問) である。